

# 令和元年11月部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和元年10月30日（水） 午前8時35分から午前9時40分

◇場 所 市役所第一庁舎7階 第一・第二委員会室

◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

## <市長あいさつ>

- ・令和元年台風第19号による被害が発生してから約3週間となる。職員の中にも大勢被災された方がいるが、この間、昼夜を分かたず対応に当たっていただいていることに感謝する。災害対策本部からは、厳しいものを含め、様々な指示をしているが、被災地の皆さん、避難されている皆さんの不安を取り除き、安心していただけるよう、是非全力で対応するようお願いする。
- ・市内各地では、大規模な冠水や土砂災害が発生し、2名の方がお亡くなりになられたほか、広範囲にわたり甚大な被害を被った。改めて、お亡くなりになられた皆様の御冥福を心からお祈り申し上げるとともに、被災された多くの皆様に、心からお見舞い申し上げます。
- ・災害発生以来、私も毎日現場や避難所に向いて被災者の皆さんの話を伺っているが、私に様々な不安や不満を語られる方がおられる。被災した世帯の悩み、状況はそれぞれ違うので、市からの情報をこまめに発信してほしい。何度も言っているように、是非被災者に寄り添った対応をお願いする。
- ・今、被災者の関心は、自宅の再建の模索、次の住まいである。り災証明も中核市からの応援も含めて順調に進んでいる。できるだけ早く、避難所の生活から次の住まいでの生活に移れるよう、対応してもらいたい。また、災害ごみの集積場所の対策、泥とゴミの処理が大きな課題である。
- ・災害対応に当たっては、日々の記録として、やったこと、やってよかったこと、うまくいかなかったこと、こうすればよかったと思ったことを、ぜひ克明に記録として残しておいてほしい。
- ・この災害関連で、えびす講煙火大会はじめ長野市のほとんど全てのイベントが中止されている。また、観光業等の経済活動が停滞している。災害対応にある程度目途が付いたところで、イベント等における過度な自粛は行わず、復旧・復興の機運につながるような内容を検討し、経済の活性化策を併せて進めていきたい。
- ・災害対応について指示したことが実施されずに市民の皆さんから批判をいただくのは不本意である。指示したことはすぐに実行に移し、なんとしてもこのピンチを乗り越えられるよう、職員一丸となつての取組をお願いする。

## 1 報告事項

### (1) 「ながのスマート通勤応援月間」の中止について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明した。（資料1参照）

#### ○質疑

〔市長〕中止とは、止めるということか。

〔都市整備部長〕延期である。実施時期や実施方法を再検討する。

## 2 協議事項

### (1) 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて（環境部）

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

## (2) 飯綱高原スキー場及びアゼリア飯綱の民間譲渡等について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑

〔財政部長〕飯綱スキー場の譲渡が成立せず、国有林地を植林して返還する場合、植林の財源として森林環境譲与税を活用してほしい。

〔農林部長〕検討する。

○今後の方向性

原案を了承。

## (3) 松代荘のリニューアルに伴う利用料金の見直しについて（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑

〔市長〕「国民宿舎」という名称はいつまで使い続けるのか。

〔商工観光部長〕一般社団法人国民宿舎協会に加盟しているので名称に国民宿舎を冠しているが、誘客力のある愛称に統一することも検討している。

〔市長〕条例で定める利用料金以外で、食事はいくらか。

〔観光振興課長補佐〕宿泊料金のモデル案は会席コースで設定しており、会席コースの食事は、税込5,500円である。ほかにも6,600円のコースや安価なコースも用意している。

〔市長〕食事の良し悪しが宿泊施設の評判に大きく影響する。

〔観光振興課長補佐〕現行でも利用者に御満足いただけていると考えているが、リニューアルを機に料理も見直したい。

〔市長〕今回のリニューアルの投資額8億円を20年で回収する予定となっているが、施設・設備は10年もすれば劣化して修繕が必要になってくる。20年の回収期間は少し長いと感じる。

〔商工観光部長〕指定管理者である長野市開発公社と協議したが、リニューアルして収益が増加するとしても4千万円が限度だと考えている。

〔副市長〕利益があまり出すぎると、利用料金の値上げに理解を得られない可能性がある。

〔市長〕利用料金を余り安くすると、民業圧迫という問題も出てくるので、今回の料金改定額については了承するが、赤字の観光施設もあるので、市の財政の持出を減らすよう常に意識してほしい。

〔財政部長〕松代荘の純収益の何割が市の歳入になるのか。

〔商工観光部長〕現在は、定額で200万円と利益の30パーセントが市の歳入となる。リニューアル後については長野市開発公社と協議中である。

○今後の方向性

原案を了承。

## 3 その他

### (1) 2018年度 長野地域スクラムビジョンの進捗状況について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明を行った。（資料5参照）

○質疑等

〔市長〕地域農産物販路拡大事業の評価結果が順調となっているが、販売促進イベントを行っても、その後の継続

的な販売につながらなければ価値がない。費用対効果を考えて、継続的な成果が上がる事業を行っていかないと、圏域市町村にとっても、長野市と連携事業を行う意義がなくなり、連携事業が続かなくなってしまう。

## (2) 城山公園再整備における建物等の立退き調停について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明を行った。（資料6参照）

○質疑なし

以上